データ項目ID		データ項目	グループ			データ型	桁数	コード	繰り返し	データ出力条件	項目定義	項目説明	実装類型
			名称	主キー	外部キー								
015	00879	賦課年度	滞納処分の停止期別情報	○	○	YEAR	4			必須	納税義務者に対し納めなければならない税額を決定及び通知した年度		◎
015	00880	課税年度	滞納処分の停止期別情報	○	○	YEAR	4			必須	・課税の事由となる根拠の発生した年度で、本来課税を行うべき年度 ・法人住民税の場合、法人の確定申告、中間申告等に係る申告期限（申告期限が延長されている法人の場合は延長前の申告期限）が属する年度	法人の場合で課税年度を管理していない場合は、賦課年度と同じ値を設定すること	◎
015	00881	通知書番号	滞納処分の停止期別情報	○	○	X	20			必須	・通知書を特定可能な番号 ・軽自動車税においては徴収単位を一意に特定可能な番号 ・法人住民税の場合、法人を一意に特定可能な番号		◎
015	00882	業務詳細（税目）コード	滞納処分の停止期別情報	○	○	X	2	016-008		必須	対象となる業務の詳細（税目）を示すコード		◎
015	00883	特別徴収義務者指定番号	滞納処分の停止期別情報	○	○	X	12			必須	滞納者が特別徴収義務者の場合の、特別徴収義務者指定番号	個人住民税（給与特別徴収）でない場合は、0を設定すること	◎
015	00884	期別	滞納処分の停止期別情報	○	○	X	2	016-007		必須	賦課税の場合、期別または月別		◎
015	00885	申告履歴番号	滞納処分の停止期別情報	○	○	9	8			必須	法人住民税において、事業年度内の課税申告（申告書、見込納付）を時系列に付番した番号	・古いものから昇順でカウントアップ ・法人住民税でない場合は、0を設定すること	◎
015	00886	事業年度番号	滞納処分の停止期別情報	○	○	9	8			必須	グループ間の紐付けに用いる番号	・設定値はアプリケーションの規定によることとする（連番、事業年度開始日 等） ・法人住民税でない場合は、0を設定すること	◎
015	01563	最新フラグ	滞納処分の停止期別情報			X	1			必須	当該データが最新かどうかを現すフラグ（0：最新ではない、1：最新である）		◎
015	00877	指定都市_行政区等コード	滞納処分の停止期別情報			X	12	999		任意	自治体ごとに定める任意の行政範囲を示すコード	・各自治体固有のコード利用を想定 ・総合支所等、任意の行政範囲を示すコード ・指定都市以外は標準オプション機能	◎
015	00887	宛名番号	滞納処分の停止期別情報		○	X	15			必須	個人(法人を含む)を識別する番号		◎
015	00888	申告区分	滞納処分の停止期別情報			X	2	011-017		条件付き必須	法人住民税の申告の種類	※※01500882が07の場合	◎
015	00889	事業年度開始日	滞納処分の停止期別情報			DATE	10			条件付き必須	課税対象となった事業年度の開始年月日	※※01500882が07の場合	◎
015	00890	事業年度終了日	滞納処分の停止期別情報			DATE	10			条件付き必須	課税対象となった事業年度の終了年月日	※※01500882が07の場合	◎
015	00891	納期限	滞納処分の停止期別情報			DATE	10			必須	各期別における納期限		◎
015	00892	滞納処分の停止金額_本税	滞納処分の停止期別情報			9	11			必須	該当の期別において滞納処分の停止等を行った本税の処分金額		◎
015	00893	滞納処分の停止金額_延滞金	滞納処分の停止期別情報			9	8			必須	該当の期別において滞納処分の停止等を行った確定延滞金処分金額		◎